

指定管理施設（ かさはら福祉センター ） 事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和２年度の実施状況		令和３年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
に福高 関祉齢 する相者 る談'及障 こ及びが と健いい 者健康 相等 談の	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・来所や電話により相談を受け、適切なサービスにつなぐ事及び適切なアドバイスをした。また、必要に応じて、関係機関(民生児童委員等)との調整を行った。 ・受付において気軽に声をかけるほか、掲示物を見ている方に声をかけて、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺った。 ※コロナ禍のため、健康相談は安全が確保される時期に開催した。(4/16)
		地域包括支援センター職員の協力のもと、介護や生活に関する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等からの健康相談や福祉相談を受け、必要に応じて自宅訪問を行う身体状況の把握と管理			—	—	—	—	
		健康相談	12	原則、月１回				1	10	1	18	
		小計	0	—	—	—	—	1	10	1	18	
		計	0	—	—	12	13	1	10	1	18	
高齢者の 教養講座等 の実施に関 すること	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・笠原地域福祉協議会、地域包括支援センターおよび保健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・ロコミでの周知が多く、体操等の体を動かす講座が特に人気があり、継続して実施した。 ※コロナ禍のため、教室開催は安全が確保できる時のみの開催とした。
		健康づくり 「貯筋体操」	12	月１回	・高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいをづくりを助長する。			13	154	12	132	
		健康づくり 「バランスボールを使った体	3	年３講座 (１講座： 10				25	449	26	353	
		健康づくり 「リンパ・ドレナージュ」	24	月２回				19	248	22	246	
		健康づくり 「３Ｂ体操」	24	月2回				16	168	18	184	
		健康づくり	4	年4回				0	0	0	0	
		健康麻雀										
		健康づくり	24	月2回				2	7	0	0	
		詩吟教室										
		教養知識	12	月１回				10	79	13	184	
		折り紙教室										
		教養知識	24	月2回				19	68	22	93	
		パッチワーク教室										
		教養知識	12	月１回				6	21	0	0	
		絵手紙教室										
		教養知識	1	年1回				0	0	0	0	
		シルバークッキング										
		教養知識	48	月4日				36	853	47	1,110	
		麻雀教室										
		教養知識	1	年1回				0	0	0	0	
		朴葉寿司づくり										
		教養知識	2	年２回				0	0	0	0	
		料理教室										
		教養知識	2	年2回				-	-	2	28	
		スマートフォン教室(新規)										
		介護予防	2	年１回以上				0	0	1	13	
		家族介護教室										
		介護予防	1	年１回以上				1	11	2	25	
		認知症サポーター養成講座										
		介護予防	3	年３回				1	16	4	71	
		認知症予防講座										
		介護予防	4	年４回				8	123	2	29	
		介護予防教室										
		小計	203	—	—	—	—	156	2,197	171	2,468	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和２年度の実施状況		令和３年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・例年、テーマを決め、各専門の医師、看護師、薬剤師を講師に招き講座を開催している。 ・事前にテーマを周知し、利用者が興味がある話を選択できる体制にした。 徳洲会病院の理学療法士の指導による「5分からはじめるひざ痛セルフケア」を実施。 (4/16) ※新型コロナウイルスの影響で、参加者の安
		公開医療講座	12	月 1 回	医師、薬剤師より、生活習慣病等の予防法を学ぶ。			1	9	1	18	
		小計	12	—	—			1	9	1	18	
		計	215	—	—	13	13	157	2,206	172	2,486	・
地域福祉増進のための講座等に関する事	1	生きがい健康塾	11	月 1 回	身近な地域を散策等を行い、閉じこもり予防			20	371	23	469	・地域福祉協議会および地域包括支援センターが主催する講座に協力して実施した。 高齢者の閉じこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容やフレイル予防に配慮したメニューを選択した。 ※コロナ禍であったが、安全面に配慮して実施した。
		教養知識 ガーデニング講座	4	年 4 回 (四半期ごと)				4	71	4	77	
		小計	15	—	—	—	—	24	442	27	546	
		計	15	—	—	13	13	24	442	27	546	
支援センターとの連携、周辺福祉施設に関する事	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・例年、障害者福祉センターおよび笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介するとともに、必要に応じて連携を図っている。 ※コロナ禍で、かさはら福祉まつりは中止となった。
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			0	0	0	0	
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			—	—	—	—	
		小計	1	—	—	—	—	0	0	0	0	
		計	1	—	—	—	—	0	0	0	0	—
			回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行える環境とし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・印刷機等の使用方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・笠原地域民生児童委員協議会、多悠連笠原校区連合会に出席し、情報交換等を積極的に行った。 ・各団体の現状を把握するとともに、課題を共有することで地域との信頼関係を築いた。 ・多治見市悠光連合会4/14.10/4・民生児童委員6/2定例会議に出席した。 ※かさはら福祉センター内の事業所で利用者及び職員がコロナの感染者や濃厚接触者等になり、安全を期すため、関係会議へ出席を控えた。 (感染拡大の抑制のため)
福祉関係団体との連携、支援に関する事	1	各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行			—	—	—	—	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			3	79	2	71	
		民生児童委員協議会との連携	11	月 1 回				3	85	1	20	
		小計	13	—	—			6	164	3	91	
		計	13	—	—			6	164	3	91	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和２年度の実施状況		令和３年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2 年度	R3 年度					
ボランティアの養成に関する事	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・共有スペースに活動紹介、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動を促進した。最新の情報を掲示し、参加が少ない事業は目立つスペースに掲示するよう心掛けるとともに、参加を呼び掛けた。 ・健康についての問い合わせが多く聞かれており、健康に関する情報を積極的に掲示した。 ・福祉協力校として、地元の小中学校の取り組みを紹介した。 ※本来なら来館して福祉体験等を行うことが大切であるが児童や生徒の安全第一を考えて、コロナ禍でできる事を行った。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなどの掲示希望団体から出されたものを掲示し、各団体の活動を支援する。			—	—	—	—	
		ボランティア情報コーナーの設置	-	随時	ボランティアの募集や養成講座の開催等に関する情報を掲示する。			—	—	—	—	
		ベルマーク及び古切手募集コーナーの設置	-	随時	身近なボランティア参加として協力を呼び掛ける。			—	—	—	—	
		福祉教育	-	随時	かさはら福祉センターを拠点に福祉活動を啓発する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	
		計	0	—	—	—	—	0	0	0	0	—
その他のため高齢者及び障がい者の福祉増	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場と なりうるようにした 。職員からも積極的にあいさつ、声掛けをした。 ・常設のコグニサイズレーンを設置し、手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるよう、自主的に取り組むよう来館者に声をかけた。 ・コロナ禍なので、フレイル予防に留意して、健康情報誌を昨年度の倍数発刊した。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等、軽運動の実施			—	—	—	—	
		健康情報紙の発行	12					6	—	12	—	
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間づくりの場を提供する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	6	-	12	-	
		計	0	—	—	12	13	6	-	12	-	—

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「１」、協定書等がない自主事業は「２」を記入。
「年度評価欄」は、次の内容で記入。